

国道414号静岡ハイパス完成に伴って市内への影響について



八木 基之



問 沼津市大平経由で市内交通量の増加が予想されるが対策は。

答 静岡県では、下香貫側の交差点において案内標識の設置や交差点形状を工夫することにより、観光客などの通過交通を国道414号の現道に誘導している。大平、日守地区からの県道の交通量増加の影響を抑える対策を予定し、工事改良面では、現在、沼津市大平地区県道(県道原木沼津線)の狭隘箇所については、これまでに日守大橋交差点までの改良工事が完成している。

また、抜本的な対策となる静岡バイパス大平ICから国道136号バイパス長岡北IC間の一日も早い開通ができるよう今後も静岡県に働きかけをしていく。

問 防災、観光の観点からの開通に期待するものは。

答 防災の観点では、災害時に津波等で国道414号が通行できなくなった際に、当市への緊急輸送路の迂回路として期待している。

観光の観点では、年間166万人が訪れる沼津港周辺施設から、伊豆長岡温泉や江間地区いちご狩り等へのアクセスが向上し、当市への来訪者増加が期待される。

問 静岡バイパス早期完成における有料道路の活用は。

答 早期完成のためには、有料道路事業の事業期間短縮が可能となる有効な手法であるため、静岡バイパス整備の財源確保策として要望をしていく。

また、伊豆中央道江間料金所との「合併採算性」については、現行法では、現に料金を徴収している道路と新規の道路とは「合併採算性」を用いることはできないため、現行法で考えるならば江間料金所は令和5年10月に予定どおり無料化になると想定している。



静岡バイパス大平IC付近
(令和4年9月撮影)

ごみ量削減・処理手数料について



古屋 鋭治



問 ①直近5年間のリサイクル率及び一人一日当たりのごみ排出量の推移は。

②当市のごみ排出量の減らない理由は。リサイクル率が全国・県平均を上回っている要因は。③市民へのごみ排出量削減要請は、具体的に考えているのか。④ごみ手数料引き上げの理由と引き上げ時期は。

答 ①リサイクル率は平均26・2%の横ばいで推移し、全国・県平均より高く現状維持したい。ごみ排出量は一人一日当たり945gでほぼ横ばいで推移。②ごみ量が減らない理由は、全国的に見ても大量生産、大量廃棄の傾向が容易に変わらないため。リサイクル率の高い理由は、他市町より多い24品目の分別を行っているため。③市民への協力要請は、市の広報誌やホームページ等を活用し意識高揚を図っている。④平成17年度の合併以降手数料見直しが行われていない。一般廃棄物処理対策委員会から見直しが必要とのご意見をいただいた。しかし、現在の社会経

済状況等を踏まえ、令和5年1月からの見直しは行わない。現時点、見直しの方向性は決定していない。新ごみ処理施設稼働後の状況を見て慎重に検討していく。



新ごみ処理施設(伊豆市佐野)

予防伐採について

問 ①今年度予防伐採を行う理由、場所・予算の決定はどのように行われたのか。②予防伐採の進捗状況は。③令和5年度以降も安全で安心して暮らすためにも継続する必要があると考えるが。

答 ①近年、倒木を原因とする大規模停電が発生している。当市においても同様の被害が生じる恐れがあるため過去に市内で倒木による停電が発生した箇所を調査したうえで、葦山の旧日通道路料金所から富士見ニュータウン入り口までの2・9キロメートル区間を選定した。事業予算は500万円(県負担250万円)、令和5年度も同区間内・同事業費で行う予定。②9月から10月に工事着手したい。③令和6年度以降については、葦山カントリーに通じる道路を選定したい。

ミュージアム構想について



山本昭彦



問 市長の所信表明においてミュージアム構想が語られています。本年のNHK大河ドラマを契機に本市を訪れる人が多くいるが、本市の歴史資源は鎌倉時代の北条氏ばかりではなく、後世に伝えなければならない歴史遺産等が数多く残されています。そこで、博物館のあるべき形について伺います。

答 本市が設置する資料館と博物館の違いは、開館日数や学芸員の配置などの条件を満たし、都道府県の教育委員会の登録を受けたものを博物館と規定しています。資料の収集や保管は、資料館博物館とも実施するものです。

問 子供たちの体験学習は、記憶に残る学習プログラムとして積極的に取り組むべきと考えるが市の考えは。

答 現在、火起こし体験を実施しているが、山木遺跡からの出土品である木製生活用品などの複製品を使用した体験プログラムなども考えられる。

問 博物館のあり方の一つにエコミュージアムが提唱されています。この考

え方を取り入れ実践している広島大学では、教室を改造した展示室を総合博物館としたコア施設を中心に、点在する学部棟や敷地内から出土した遺跡はサテライト展示場としています。また、所在市とタイアップし、エコミュージアムの考え方を市内全域としてスタートしています。

本市には、サテライト展示場となりうる史跡や遺跡が多く残されているばかりでなく、三番叟やかわかんじょうに代表される地域に伝わる祭りや狩野川発祥の鮎の友釣りなども十分なポテンシャルを持っています。

エコミュージアムの考えを取り入れた博物館構想を策定してはどうか。

答 エコミュージアムの考え方は、財政負担を軽減する手法であるとともに住民の地域への愛着を醸成し、地域社会への積極的な参加を促すことにつながる。この

エコミュージアムの考え方を含めしっかりと検討していきたい。

エコミュージアムの考え方を含めしっかりと検討していきたい。



伊豆の国市中央図書館内の郷土資料館

ごみ処理手数料は値上げせず
ごみ袋代金として維持を

田中正男



問 伊豆の国市は、伊豆市と共同で整備中の新ごみ処理施設の稼働（令和5年1月）に合わせてのごみ処理手数料の値上げは、コロナ禍により時期や金額等は未定で値上げは見送るとのことですが、2市で異なるごみ処理手数料を統一する必要性はありますか。

答 各自自治体が地域の実情を踏まえ、自らの判断で設定するもので、必ずしも統一する必要はないと考えます。

問 ごみ処理には費用が掛かるというが、新ごみ処理施設の伊豆の国市負担の年間維持管理費は、現施設の維持管理費よりどのくらい安くなる試算か。

答 年間約8400万円が削減されるという試算が出ています。

問 現在のごみ処理手数料は、ごみ処理費用の一部負担ではなく、ごみ袋代を賄う金額を設定している。ごみ処理手数料ではなく、ごみ袋料金として設定すべきではないか。

答 用語の使い方も含めて、今後の見直しは慎重に検討させていただきます。

直しは慎重に検討させていただきます。

問 新ごみ処理施設では、現在分別して処理しているその他プラスチックを、燃やすごみと一緒に助燃材として燃やす予定ですが、プラスチックを燃やすことで有害物質の発生など安全面の心配があります。安全性は。

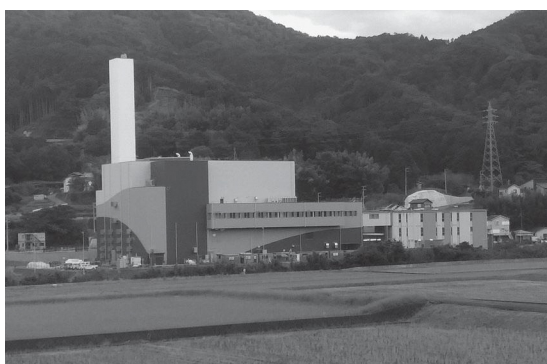
答 新ごみ処理施設は、最新の排ガス処理施設を備えており、焼却中に高温燃焼域を確保するための燃焼制御システムにより、焼却炉から煙突までの間に有害な成分を除去し、公害防止の環境基準数値を大幅に下回るガスの排出となり、安全が確保されます。

問 その他プラスチックを燃やすことにより、削減される費用はどのくらいか。

答 令和3年度の処理費用は約3100万円、この分が削減されます。

令和3年度の処理費用は約3100万円、この分が削減されます。

令和3年度の処理費用は約3100万円、この分が削減されます。



伊豆市佐野に稼働予定の新ごみ処理施設

会計年度任用職員の処遇適正化と正規職員の増員を



三好陽子



問 平成17年度から、総務省の集中改革プランと称した職員数の削減が行われてきた。その一方で会計年度任用職員(令和元年度まで臨時・非常勤職員)が増加傾向である。このような状況が常態化するのとは問題である。職員数と会計年度任用職員数の推移は。

答 平成17年度は正規職員419人、会計年度任用職員245人。令和4年度は正規職員394人、会計年度任用職員326人。正規職員25人減、会計年度任用職員81人増。

問 会計年度任用職員の給与水準は、近隣市町と比較してどうか。

答 近隣11市町中、本市より高いところが8市町。

問 会計年度任用職員の給与水準を引き上げるべきではないか。

答 毎年行われる最低賃金の引上げ等も勘案して慎重に検討していきたい。

問 正規職員を増やす考えは。

答 正規職員が必要と判断される場合は、公募により正規職員の採用を検討

していく。

学校給食の無償化を

問 文部科学省は、給食費の無償化等について平成29年度に全国1740自治体を調査したところ、29%が何らかの無償化を行っているとの結果であった。県内の小中学校の給食費無償化等の現状は。

答 無償化2市町、一部負担4市町。

問 「義務教育は無償」の憲法理念に沿って、給食費の無償化を検討すべきではないか。

答 学校給食の無償化をすると、各家庭が負担するとされる食材料費2億円を将来ずっと財政負担することになる。市のすべての施策や事業に影響を及ぼすので、今後も慎重な検討が必要と捉えている。



伊豆中央道の無料化について



鈴木俊治



問 伊豆中央道は、来年10月に無料となると認識している。無料化への状況は。

答 平成23年時点で料金徴収期限時の未償還額は、伊豆中央道は平成27年3月で約5億円。修善寺道路は平成37年8月で約19億円。ここで合併採算性を導入し有料期限を平成35年11月12日とし、その後、令和5年10月2日となった。

問 有料道路の在り方への認識は。

答 料金収入により償還が完了した時点、あるいは料金徴収期限に達した場合に無料開放になると認識している。

問 先日的一般質問で静浦バイパスの財源確保のため、道路整備特別措置法の改正ができれば、来年10月3日以降も伊豆中央道の有料化延長もあることについて、市長は容認していると取れる発言があったがその通りか。

答 私が延長を容認するというより、法律、条例により、県が決めることになると思う。仮に将来無料化が実現し

なければ、何らかの代償、道路整備、料金ということもあるかもしれない。市として慎重に考えていく。

問 無料化への要望活動の考えは。

答 要望活動は、現時点行っていない。



伊豆中央道江間料金所

千代田団地汚水処理施設等の市移管と下水道への接続について

問 本年6月に行われた市と管理組合の検討の内容は。

答 市は、汚水処理施設の移管を受けることはできないと回答した。

問 どのような点を解決すれば下水道に接続できるか。経費は如何ほか。

答 仮に事業実施する場合、地区内住民の全員同意、既設管の布設替え、配管工事とマンホールポンプの設置が必要。工事費は約4億円。整備計画に入っていた場合、国の補助金が2分の1で2億円、残り2億円は起債で、交付税措置は49%。約1億円が市の負担。

問 将来的な状況を見据えて下水道計画へ組み込む検討はできないか。

答 現時点ではその検討時期を示せないし、検討をする約束もできない。